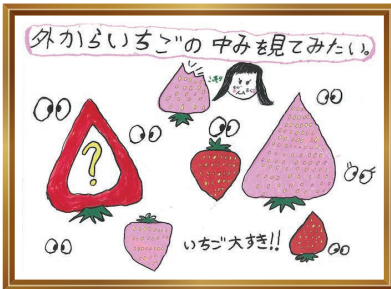


第1回「次世代放射光と仙台の未来」絵画コンクール 見えたらいいなの世界展

イノベーション・パートナー賞

色とりどりのいちごで賞



「外からイチゴの中みを見てみたい」
仙台市立上杉山通小学校 2年 原田 桃歌

- イチゴがおいしそう。
- 好きなものを見たという素直な気持ちがいいですね。
- さまざまな形をしたいちごが、とても可愛いですね。どんな風になっているのかな、というワクワク感が伝わってきました。

賢いロボット賞



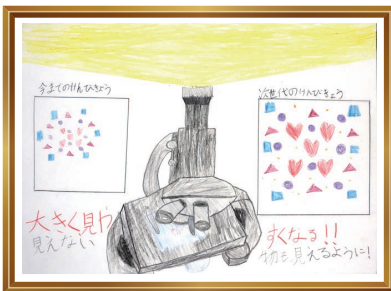
「むしと花をしらべるロボットの中をしらべるべく」
仙台市立富沢小学校 1年 高橋 空翔

- カラフルで夢があっけかわいいですね。
- 真ん中の目で「べく」がよく観察している様子が印象的に表されています。



「見えたらいいな」
仙台市立国見小学校 2年 関口 喬大

- カラフルな絵が新しい科学、明るい未来を想像させます。
- 手のひらと合わせて、「見えたらいいな」の世界が重なっている描写がおもしろいですね。背景が虹色で、明るい未来を感じさせます。



「今まで見ることができなかった物が見えるよ!」
聖ウルスラ英智小学校 3年 山田 そら

- 巨大な顕微鏡を使って「ものがよく見えるようになる」ことが上手に表現されています。



「雪たちのミクロの世界」
美郷町立青生小学校 3年 常見 胡桃

- 不思議な魅力。
- 目のデザインがきれいに描けています。
- 水が氷結したときの内部構造を科学する興味という気持ちがあれば、きっと新しい発見があると思います。



「ちょうのふしぎ」
仙台市立南小泉小学校 2年 藤原 莉央

- どうしてあれほど姿が変化するのか、調べたいですね。
- さなぎから成虫になることはトランスフォーメーションといいます。今、日本はデジタル化への変化（DX）が必須ですが、さなぎが蝶にどのように変化するのか参考にしたいですね。



「ミジンコの生活」

仙台市立柳生小学校 3年 大竹 真央

- 実際の科学者も放射光でミジンコを見ます!



「うるおいの都」

仙台市立広瀬小学校 4年 本田 しずく

- 夢のある絵。
- このような街があるといいです。
- 水蒸気となった水の構造を観察する興味が良い。
- 空気を元素記号で表すことはできるかもしれないが、可視化はできるのだろうか、と考えられる作品です。



「クマムシの可能性」

仙台市立八木山小学校 4年 小林 直大

- 細胞の変化を科学する興味が描けている。
- クマムシには不思議がいっぱいですね。
- クマムシがタルになる、ということがわからなくて調べてしまいました。クマムシってとても面白い生物なんですね!私もタルになる瞬間をみてみたいと思いました。

イノベーション・パートナー賞

見えたらしいナノ賞



「トルマリン」

仙台市立六郷小学校 1年 渡部 志衣

- トルマリンは結晶を熱すると電気を帯びるため、電気石というそうです。放射光だと何かわかるか楽しみです。

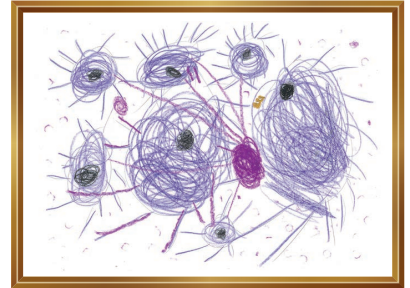


「インフルエンザのもよう」

仙大和町立吉田小学校 1年 横山 聖矩

- 病気の治療に役立っていきいといいですね。
- ウイルスとナノスケールはとても重要で新しい分野だと思います。これから100年の間にこの分野の研究が世界中で進むはずですよ。

生命の不思議賞

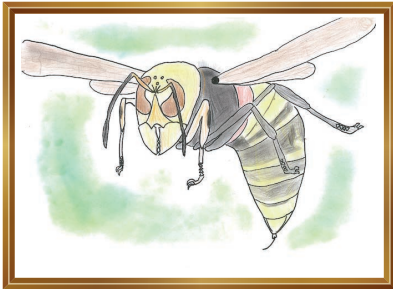


「コロナウイルス」

大和町立吉田小学校 1年 堀籠 朝花

- コロナウイルスを想像した作品ですが、非常にグロテスクで怖いですね。

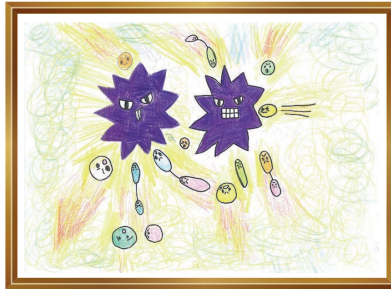
オ・ススメ賞



「オオスズメバチ」

仙台市立錦ヶ丘小学校 3年 工藤 壮流

- 昆虫が好きなのかな。
- スズメバチが上手に書けています。
- よく観察して丁寧に書かれている



「コロナとたたかえ!!!」

利府町立利府小学校 3年 千葉 麻礼

- 将来科学を駆使して克服技術を開発期待できる。

私たちの地球賞



「せかいじゅうのくうきをみてみたい」

大崎市立古川第四小学校 1年 石原 和佳

- 空気の違いを見て、世界中が一番良い空気になるように頑張りたいですね。
- 空気を元素記号で表すことはできるかもしれないが、可視化はできるのだからと、考えさせられる作品です。



「鉄に生きている謎の生物」

ホライゾン学園仙台小学校 1年 宮路 曜全

- 物質科学と生命科学の双方を見事に表現。
- 様々なものを、どんどん細かくしていくと、違う世界が潜んでいるかもしれません。
- 鉄の中に広がる不思議な世界。想像されたストーリーに引き込まれました。



「せかい平和」

仙台市立八木山小学校 2年 横尾 心大

- 世界地図や動物、世界共通の課題がシンプルに描かれ、日本と世界がつながってそれらを克服するというメッセージを感じました。



「水はどこの水なのか見てわかるの?」

仙台市立愛子小学校 2年 三浦 美那海

- 水の不思議をぜひ解明してほしいです。
- 水には違いがあると思うのだけれども、誰も可視化したことがないのではないだろうか。

第1回「次世代放射光と仙台の未来」絵画コンクール 見えたらしいなの世界展

イノベーション・パートナー賞



「いろんな気体が見てみたい!!」

アトリエサチ 6年 木村 彩乃

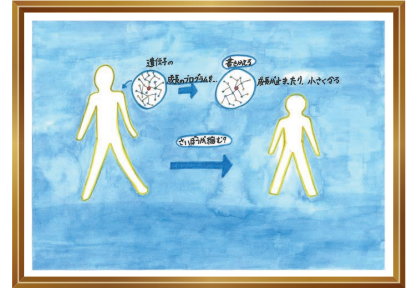
- 目に見えないが様々な名称に区分されている気体を科学する興味が良い。



「北極の微生物」

アトリエサチ 4年 島 楓哉

- 数百年前の氷に入っている気体や生物を科学しようとする良い着眼。
- 北極と南極の違いはさておき、私も未知の生物というものを見てみたいと思いました。

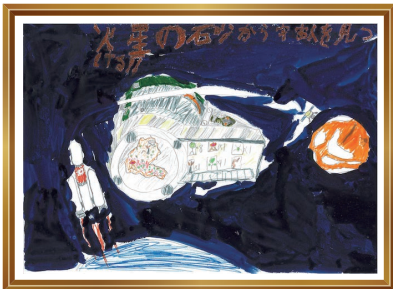


「遺伝子」

アトリエサチ 6年 武田 小春

- 放射光施設で不老不死の実現を目指して研究しましょう。大いに期待しています。

TDC 賞

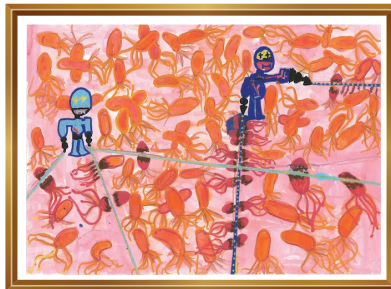


「火星探査機との連携」

アトリエサチ 4年 及川 遼人

- TDC は火星の衛星探査 MMX プロジェクトで、衛星フォブスの表面の物質を入れる容器の加工をしている会社です。私もそこに小さな生き物がいたらすごいな!と思いました。

特別賞



「ピロリ菌をたおせ! Let's Go」

聖ドミニコ学院小学校 2年 草野 誉久

- 放射光でピロリ菌の薬が開発できたらいいですね。
- ピロリ菌の描写が想像以上に怖いですが、おもしろいですね!



「じしゃくの町」

仙台市立広瀬小学校 3年 佐藤 奏太

- ガソリン、電池、次は磁石で動く車かな?そしたら街全体が一つのシステムになって便利になるだろうね。

ナノで美味しいで賞



「砂の中にちっちゃな宇宙人」

仙台市立榴岡小学校 1年 佐藤 悠馬

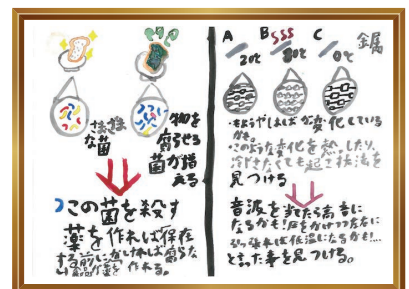
- 「はやぶさ」にナノレベルの宇宙人が乗っていたら面白いな。
- 小さい宇宙人、見つかるといいね。



「仙台いちごのしんひんしゅはっけん!」

仙台市立南小泉小学校 1年 宮崎 あさひ

- 仙台のいちごが、さらにおいしくなったらうれしいね。



「腐らない食品&金属温度変換方法」

仙台市立片平丁小学校 5年 江場 圭汰

- 腐るメカニズム、冷える・温まるメカニズムを探るという作業は放射光でナノのレベルまで可視化することによって分かるかもしれないという期待を抱かせました。
- 腐るシステムに着目するというのは面白いですね。たくさんの人を救う研究になるでしょう。

イノベーション・パートナー賞

👑 特別賞



「シャーレの中」

大和町立宮床小学校 4年 松石 草太

- シャーレの中のいろんな生き物がカラフルに見えたら楽しいね。
- からだの中で、金属をつくりだす微生物もいます。ナノメートルのスケールでその仕組みがわかれば微生物も新しい材料になるかもしれません。



「音が見たい」

仙台市立台原小学校 2年 細野 陽向

- 音って何なのか。これをきっかけに興味を広げていてもらいたい。
- 音を見てみたいなんてすごい思い付きですね。
- 音の流れもみることができたら楽しいでしょうね！

👑 特別賞



「未来が見えたとしたら・・・」

仙台市立広瀬小学校 6年 中込 日和

- 今をカラフルに生きていくことは、大切なことです。
- 最後が見えるというストーリーが個性的ですね。



「クリオネと小さなかまたち」

仙台白百合学園小学校 6年 丸山 美智

- 水中のいろんな種類の微生物が、みんな仲良く共生している様子が見えると楽しいですね。



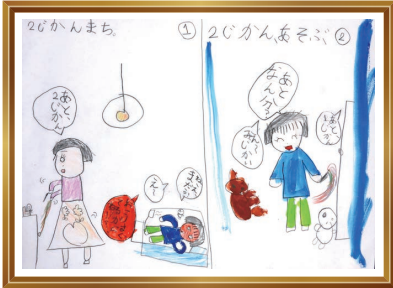
「虹色バス (にじいろバス)」

仙台市立立町小学校 2年 鈴木 らら

- 未来へのわくわくする気持ちが明るく表現されています。

イノベーション・パートナー賞

👑 からだのふしぎ賞
発想がユニークで賞



「からだのとけい」

仙台市立若林小学校 1年 佐川 いろは

- からだのとけいのしくみを見ることができたら、たのしいじかんがもっとたのしくなりそうですね。
- 1年生の「気づき」とは思えないほど発想がユニークな作品。見えたらしいけど見えない No.45、46、61、81 の作品もユニークで、特に No.81 と迷いましたが1年生の発想を選択しました。
- 同じ時間でも、楽しい時間はあっという間に過ぎますよね。時間の感じ方がわかれば、楽しい時間は長く、逆に楽しくない時間は短くできるかもしれませんね。
- 時間を「見る」という概念はとても斬新で多分野にわたる総合的で興味深い研究に発展する可能性を感じました。
- 感覚的なものを可視化したい、という視点がすてきだし、気持ちの違いを絵で表現するという挑戦をしてくれている点を評価します。
- 体内時計気になります。
- 体のどこで時間の感覚を感じているのか。こういう発想はなかなかできないですね、想像の域を超えておもしろいです。

👑 夢いっぱい賞



「虫とおいかっこ」

宮城教育大学附属小学校 2年 谷口 孝太郎

- 科学を楽しんでくれそう。
- 羽の不思議を放射光で見て、空飛ぶ羽を作るという発想が具体的で良い。
- こんな羽が作れたら素晴らしい。
- 物事に対する素直な探究心と、その知識を応用して虫と一緒に飛んでみたいという夢いっぱいの作品。
- トンボの羽は、薄く、軽く、透明で、この原理は風車の羽根とか、いろいろ応用できそうですね。
- 虫という身近な題材をミクロに深堀りしたいという希望と、その研究を利用して新しい技術につなげたい、ということが絵で表現されていて素晴らしいと思います。

「虫たちのふしぎ」

仙台市立南材木町小学校 2年 菅原 惟那

- チョウの羽の粉はきれいですね。ぜひ観察してみてください。
- チョウの羽は水をはじきますよね。この仕組みを利用すれば、いろいろなものに応用できますね。
- 蝶の銀粉だけではなく、さまざまな虫の表面を可視化すると社会に役立つメカニズムが見つけれられるかもしれません。
- 自分の手に着く粉からミクロの世界まで視点を移動させて考えている様子を絵で表現している点が素晴らしい。

👑 特別賞



「もぐらとあさがお」

仙台市立沖野小学校 1年 小川 蒼一郎

- 放射光は農業分野での活用も期待されているので、朝顔の種から芽がでる瞬間を是非見たいですね。
- 一つのをじっくりと観察する様子が伺えます。
- あさがおの種からみた描写が個人的におもしろいと思いました。もぐらも登場し、きつと描いた生徒さんの頭の中にはお話ができあがっているのかもしれないですね。絵本のような世界にみえました。

👑 ナノの宇宙賞



「きれいな宇宙」

仙台市立原町小学校 1年 渡邊 麻里子

- 興味があるものを「もっと詳しく調べてみたい」という気持ちを大切にしたいと感じる作品。また、折り紙を使って工夫されている。
- 氷の粒が集まって、地球からも望遠鏡で見えるんですね。さっと綺麗だと思います。
- 見たいもの、見たことが無いものを想像して、工夫して丁寧に絵を書いてくれている。
- 素材の違いによって絵の雰囲気もずいぶんと変化するんですね。土星の輪、みてみたいな！と思いました。

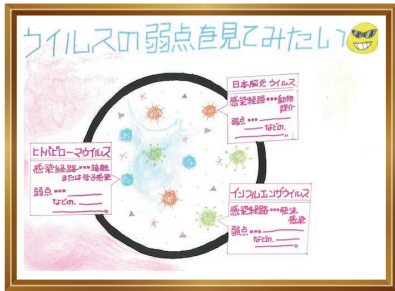


「おおきなけんびきょうでせかいのけむりを見たい」

岩沼市立岩沼西小学校 1年 鈴木 颯翼

- 「色々なけむりを調べたい」の理由は、純粋な興味のみではなく、「生き物に優しい環境を作りたい」という高い問題意識を持っていて、とても感心した。
- 煙をどのように封じ込めると可視化できるのか非常に興味があります。
- けむりというテーマで、様々なものに思いを馳せ、1枚の絵にまとめて表現していて素晴らしいと思いました。ナノの研究が環境問題にインパクトを与え、自分の暮らしに影響を及ぼすという循環が描かれていると思いました。

イノベーション・パートナー賞



「ウィルスの弱点をみてみたい」
大崎市立古川第四小学校 5年 石原 和実

- コロナウイルスに関心を持っていることは科学への道につながるのではないかな。
- コロナ対策への期待を子供の目で素直に表現 薬の開発に役立つウイルスのタンパク構造への興味を描いている。
- ウイルスの研究が進んで、見ただけで弱点がわかるようになればいいですね。
- 一刻も早くコロナウイルスの弱点を見つけ、元の生活に戻れたらうれしいですね。



「緑の中の輝くバームクーヘン」
仙台市立黒松小学校 3年 佐々木 百合子

- 青葉山を愛してくれる科学者の卵。
- 虫などをすこよく観察している。
- 青葉山の自然豊かな環境の中に、リング型の最先端施設が整備される情景が非常に良く表現されている。
- 大好きな虫のことを放射光でいっぱい調べてみよう。青葉山で新しい綺麗な虫を見つけたらすごいですね。
- 放射光施設の周りは自然豊かで素敵な場所ですね。虫の羽の光沢や模様にはきっと意味があるはずで、それを解明すれば私たちの生活に役立つと思います。
- 自然の中には放射光で見ると面白いものが一杯ありますね。私もいろんな昆虫を見てみたいです。

ほのぼの賞



「よっぱらいの心の中」
仙台市立片平丁小学校 5年 米田 久竜

- 見れたないなと思います。
- 見た人を笑顔にする素晴らしい絵。
- 幸せな気持ちが目に見えるようになったら、ますます楽しくなりそうですね。
- 親方の周りで幸せそうに宴会をしている情景が目に見えれば温かい作品。心の中がナノレベルで分かたら困るかもしれません。
- 心は生物学の永遠の課題です。お酒をのまなくても、みんなが幸せと思えるようにする何かが見つかるかもしれませんね。
- アルコールを入れると大人が幸せと感じているメカニズムを見てみたいというユニークさに惹かれました。

ナノの未来賞 「目に見える形」で賞

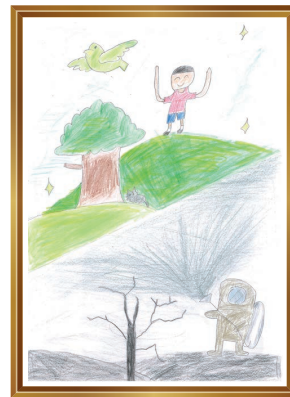


「水中空気」

大崎市立古川第三小学校 6年 小野 ひかり

- きれいに書けています。
- 空気がきれいな未来を是非実現したいです。
- きれいな空気が目に見えるようになったら、みんなが空気をきれいにするために力を合わせることができそうですね。そんな未来への期待がふくらむすばらしい作品だと思います。
- きれいな空気は暮らしの基本です。宮城のきれいな空気を日本中、世界中に広めましょう。
- 見えない空気という物質を 目に見える形にして絵画で表現したこと。
- 水中の泡の可視化は可能です。是非見てほしい。
- 力作ですね。絵を書くことが好きな気持ちが伝わってきます。
- 人物の繊細な描写が素敵ですね。見えないものをどうやって表現するか、という視点に立ってイメージしている点が素敵です。

明るい未来賞 放射能汚染さようなら賞



「放射能を吸い取れ！」

気仙沼市立鹿折小学校 6年 阿部 和奏

- 被災地の復興を願う想いと、先端科学による明るい未来への希望がとても良く表現されている。
- 放射能汚染を解決して、地域の明るい未来づくりに期待感が伝わる作品。
- 放射光で放射能を吸い取る何かが開発できるといいですね。
- 放射性物質の可視化が可能なかどうかはありますが、社会的な課題に目を向けるという姿勢が素晴らしいと思います。
- 放射能に悩まされない未来の街を作りたいですね。

ナノの未来賞



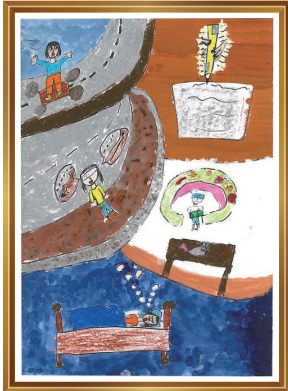
「コロナウイルスの治療薬とそれによってもどる日常の10年後」

仙台市立南小泉小学校 6年 西原 美都

- ちょっと怖い印象。
- コロナ克服に向けた思いが感じられた。
- 2021年がこういう年だったという記憶にとどめる意味で特別賞を。
- きっと、コロナを克服した先には、再生された新しい世界が訪れると信じて、みんなで一緒に頑張らしましょう。そんな未来への期待があふれる作品です。
- 社会問題を科学で克服した社会を上手く描いている。
- 深くストーリーを考えた上での作品であり、非常に感心しました。

イノベーション・パートナー賞

ナノの未来賞

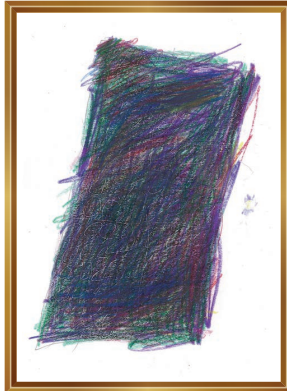


「ゆめみる「ナノ」のせかい」

柴田町立船迫小学校 2年 佐藤 衣菜

- ナノの世界のゆめは、ナノの世界が作っているのでしょうか。
- いろいろ便利な道具ができそうですね。
- ナノで見ることにより、これまでになかった、いろんな便利なものが商品になるといいですね。
- ドラえもんの世界を実現したいですね。
- 「こういう世界があったらいいな」というイメージが具現化されていて素晴らしいです。未来にはもしかしたらどれか本当に実現しているかも？

ナノの不思議賞



「かげ」

大和町立吉田小学校 3年 横山 聖弥

- 「かげ」に着目する視点が素晴らしい。人が考えないあっと驚く研究ができるセンスを持っている。
- はじめは何を表現しているんだろう、と思ったのですが、何度かみているうちにとても深い意味に感じてきました。大人では気づかない視点かもしれません。



「分子と原子」

仙台市立北六番丁小学校 3年 横田 麟門

- 明るい色合いのパターンでナノの世界が表現されています。原子の色の違いや、原子をつなぐ棒の意味するものに興味を持ってほしいと思います。分子はどのように原子から作られ、反応し、変化するのか、調べて、予想して、検証してみてください。

平和の水賞



「ヨルダン川のせい水」

仙台市立台原小学校 1年 池内 新

- 聖水の成分や効能を分析・証明し、多くの人を救えたらいいですね。着眼点がいい。



「体の中を健康にするナノマシン」

柴田町立船迫小学校 2年 佐々木 志歩

- こんなマシンがあったらと、私もほしくなりました。



「オリンピック望遠鏡で見たらこんなかな？」

仙台市立福室小学校 2年 菅野 琉太

- オリンピックを抽象的に表していることと、上のほうの人？みたいなものが何か非常に気になります。
- まさに「複眼」的にものを見るということは、今後の物の見方、捉え方だと思います。電氣的、磁氣的、光学的な視点と解析方法で新しい分野が開けると感じました。